

東日本大震災の義援金を募ります

VOCメンバー及び関係各位

地元への地震・津波災害義援金(お見舞い)のお願い

2011年3月29日
VOC理事長 千葉 喜英

拝啓

未曾有の大地震・津波が3月11日に太平洋沿岸を襲い、きわめて広域で甚大な被害が生じています。被害を受けられた方々へ心よりお見舞い申し上げます。

VOC 志摩ヨットハーバーのある五ヶ所湾でも、津波の影響で漁業を営んでいる方々に甚大な被害が出ております。事実ハーバーから湾口にかけてずっと続いていた定置網や養殖筏が流されて湾の景色が一変しています。

先般のVOC理事会で被災者の方々への支援の方法について話し合いが持たれました。東北の方々への医療品その他を支援することはこれから継続し中長期的な視野を持って行います。

一方、地元の五ヶ所湾の漁業施設の被害も甚大であり、まずは、地元へ「お見舞い」という形での義援金を集める事と決しました。

つきましては、ご賛同のオーナー様は5,000円を一口として、下記口座へお振込み下さい。志摩ヨットハーバーのフロントにて委託いただいても承ります。

集めた「お見舞金」は、三重外湾漁業共同組合、くまの灘支所の上村所長へお渡しすることにしております。

記

百五銀行 五ヶ所支店

銀行口座名: ヴィーヴルオーシャンクラブ 口座番号:普通 205996

皆様方の暖かいご支援ご好意を、なにとぞ宜しくお願い申し上げます。

敬具



VOC主催レース結果



1 月度ポイントレース

開催日：平成23年1月16日(日曜日)

強風のためノーレース

2 月度ポイントレース

開催日：平成23年2月13日(日曜日) コース：五ヶ所湾内

着順	艇名	スキッパー	TSF	所要時間	修正時間(S)	順位
1	AZURE	金森 由朗	0.8850	1h 29m 58s	4777	1
2	オアシス	尾初瀬 勲	0.9375	1h 30m 09s	4920	3
3	カスミ-	田中 匠	0.9324	1h 36m 35s	5189	4
4	ヴィーナス	千葉 喜英	0.8054	1h 43m 32s	6212	2

3 月度ポイントレース

開催日：平成23年3月20日(日曜日)

津波による影響で中止

レース スケジュール

4 月度ポイントレース

開催日：平成23年4月17日(日曜日)

艇長会議：午前8時30分 スタート：午前10時

出艇料：3,000円/艇 乗員参加料：2,000円/名

コース：五ヶ所湾内

5 月度ポイントレース

開催日：平成23年5月15日(日曜日)

艇長会議：午前8時30分 スタート：午前10時

出艇料：3,000円/艇 乗員参加料：2,000円/名

コース：五ヶ所湾内



エメラルドカップ (ポイント2倍)

開催日：平成23年6月19日(日曜日)

艇長会議：午前6時 スタート：午前8時

出艇料：3,000円/艇 乗員参加料：2,000円/名

コース：五ヶ所湾口 カツオピラシ(贅湾)

浜島浮標(英虞湾口) 五ヶ所湾

志賀高原スキーツアー

開催日時:平成23年2月19日(土曜日)
20日(日曜日)

恒例のスキーツアーが今年も開催されました。今年の幹事はプリモの寺山英臣様です。前日夜遅くに各地を出発し、19日朝9時、宿泊場所の志賀グランドホテルのロビーに集合しました。当日は晴天に恵まれ、抜けるような青空の下まずは、全員そろっての記念撮影のため山頂を目指します。そこで記念に「はいっ、チーズ！」背景には一面の銀世界が広がっています。一度滑り終えた後で、上級者組みはさらに上を目指しました。初級者は自分のペースでじっくり練習です。週末とはいえども広く、コースが多彩な志賀高原ならではの…混雑もせず自由に滑りを楽しむことができました。



…というよりは、スキー・スノボ人口は減りつつあるのでしょうか…【一之瀬グレンデ山頂で…はいっ、チーズ！】



【素敵な滑りですね】

ホテルに戻り、お風呂に入って疲れを癒した後は、おまかねの大宴会が始まりました。お食事豪華で、十分に堪能したらカラオケ大会がスタート。…残念ながら風邪を引いてしまい早々にリタイアしてしまいましたので一緒に盛り上がることはできませんでしたが、写真を見せていただきましたがいつも通り、笑いの耐えない大宴会となったようです。皆様、ご迷惑おかけいたしました…。優しい心遣いがとてもうれしかったです。



【そろそろ中盤…次はカラオケ】



【ホテルを出発！2日目のスキーへ】

2日目も晴天。2日続けてこんなに天候が良かったのは VOC スキーツアー史上初めてのことでした。だからでしょうか。ほとんどの方が滑りに行きました。病気組はおとなしく志賀高原一之瀬エリアを散策しつつ、お茶をしておりました。途中、野生の猿を発見して記念に1枚。三重・名古屋方面は午前中に長野を出発。美味しいお蕎麦をいただき、新鮮なりんごをお土産に…家路につきました。本当に楽しい2日間でした。このようにたくさんのメンバー、クルー方々とハーバーを離れ交流をもてた事がとても光栄でした。楽しい旅をありがとうございました。 (山本 智香)



【お猿の親子】

チャリティーイベント

この度の巨大地震・津波の被災者の方々へ心よりお見舞い申し上げます。
またVOCメンバー及びクルー、ご家族の方々から続々と暖かい支援を頂いております。
誠にありがとうございます。
さて今年のハーバー開きですが、先般の理事会提案の「地元へのお見舞金」への協賛チャリティーイベントとしての開催が決定しました。
皆様お誘いあわせの上、ご参加いただきますよう、
よろしくお願いいたします。

音楽の夕べ&宴

日時 : 2011年4月23日(土) 18:00~21:00

会場 : 志摩ヨットハーバー クラブハウス&バルコニー

参加費 : 無料

(各艇からの屋台料理、およびドリンクは有料)

1束2,000円のチップを販売します。チップ1枚が100円で屋台料理、
飲み物を買っていただくことができます。

(残ったチップは、パーティー終了後に換金させていただきますので、ご安心ください。)

また、募金箱が設置されていますので参加者の方は1人500円以上の寄付をよろしくお願いいたします。



音楽の夕べ

JAZZ LIVE

(guest musician 木村ヒロヨシ
堀口 ヤスキ 他多数)

榊宏之とツインソウル

飛び入りの歌、演奏も歓迎します。

(演歌以外可。)

木村氏の伴奏をご希望の方は譜面をご持参ください

ダンスタイム



各艇オーナー様へご協力をお願い

イベントを盛り上げるために、屋台コーナーを設けます。各艇よりお料理の出品をお願いします。
また屋台の売上の20%をコミッションとしていただき、内10%を義援金として寄付させていただきます。
お申し込みはハーバーフロントまで。

祈願神事&ハーバー開き

開催日時:平成23年4月24日(日曜日) 午前11時~ (雨天決行)

開催場所:バーベキューコーナー&メイン棧橋付近

参加費:お一人様 1,500円(飲料は別料金、内500円は義援金として寄付)

春、ヨットシーズンの到来です。ゴールデンウィークを目前に控え、ヨットライフが
安全で有意義なものとなるよう、今年も恒例の祈願神事を開催します。安全祈願のお札の販売もござ
います。

また神事後はバーベキューコーナーにて、もちつき大会が開催されます。春ならではの軽食も用意さ
せていただきます。当日天候がよければ、合同湾内クルージングも予定していますので皆様お誘い
合わせの上、ぜひご来場下さい。



平成22年度第5回VOC理事会議事録

日 時 平成23年1月15日(土)午後5時30分～午後6時00分
場 所 志摩ヨットハーバー クラブハウス会議室
出席者 千葉 喜英理事長、榊 宏之、遠山 隆重各副理事長、山崎 勲、吉岡 俊二、
金森 由朗、清水 次人各理事
委任状出席 宮崎 正剛、古川知彦、各理事 オブザーバー 鈴木 敏郎 箕面観光監査役

開会に際して事務局より出席理事7名、委任状出席2名、会則に則り成立する旨報告された。引き続き、千葉理事長の進行により下記議題に基づいて審議された。また、議事録署名人として、山崎勲理事、金森由朗理事が指名された。

第1号議案 理事選定の件

前回の理事会で候補者リストを作り、承認された下記の方々に理事になっていただくべく依頼し内諾を得た。そしてそのリストの方々を理事会全員の賛同で承認した。

新理事の名簿(敬称略):千葉喜英、榊宏之、遠山隆重、橋川犁也、宮崎正剛、金森由朗、古川知彦、山崎勲、吉岡俊二、丹羽徳子、寺山英臣

その中で理事長は引き続き千葉喜英氏が担うこととなり、副理事長も引き続き、榊宏之、遠山隆両氏が担うことになった。なお、前理事の清水次人(志摩ヨットハーバー代表取締役)は理事をはずれ事務局長に就任することになった。

第2号議案 榊志摩ヨットハーバー12月度決算報告

月次決算書に基づき報告された。営業利益はやや改善されており、キャッシュが前月より増加して、資金繰りが改善されている旨報告があった。但し、まだ余裕のある状況ではなく、設備投資をするためには、会員の増加に勤め資金的に余裕のあるようにする必要がある点が指摘された。その際、知合いに紹介するためのツールの作成も必要であることが理事より提案された。決算報告に関しては、月次で見ていくより、年度決算を見ていくことが大事である点が指摘され、次回の理事会では、昨年度決算を元に報告をするよう要求があった。

以上

平成23年度第1回VOC理事会議事録

日 時 平成23年1月15日(土)午後6時00分～午後6時35分
場 所 志摩ヨットハーバー クラブハウス会議室
出席者 千葉 喜英理事長、榊 宏之、遠山 隆重各副理事長、山崎 勲、吉岡 俊二、
金森 由朗、寺山 英臣各理事
委任状出席 宮崎 正剛、古川知彦、丹羽 徳子各理事
オブザーバー 鈴木 敏郎 箕面観光監査役、清水 次人事務局長

第1号議案 平成23年度行事計画

年間レース日程及び実施するクラブ行事が決定され、日程も一部を除き決定された。

第2号議案 VOC 新入会紹介

春日井晴雄氏が紹介され、入会が満場一致で承認された。

第3号議案 その他の件

宮崎理事より「食堂をもっと魅力的にするための提案」として外部への告知、イタリア料理の創作などが書面であった。それについて理事が各自意見を出された。今後理事会や経営として前向きに取り組んでいくこととする旨の議論がされた

以上

平成23年度第2回VOC理事会議事録

日 時 平成23年3月20日(土)午後5時～午後6時
場 所 志摩ヨットハーバー クラブハウス会議室
出席者 千葉 喜英理事長、榊 宏之副理事長、山崎 勲、吉岡 俊二、金森 由朗、宮崎 正剛、
丹羽 徳子各理事 委任状出席 古川知彦、寺山 英臣各理事
オブザーバー 鈴木 敏郎 箕面観光監査役、清水 次人事務局長

開会に際して事務局より出席理事7名、委任状出席2名、会則に則り成立する旨報告された。引き続き、千葉理事長の進行により下記議題に基づいて審議された。また、議事録署名人として、山崎勲理事、金森由朗理事が指名された。

議題1. 震災、津波の支援について

医療品その他を支援することもこれから視野に入れて行う。東北の災害への義援金を当クラブから出すよりも、地元の被害が大きいこともあり、地元へ「お見舞金」という形で出すことにする。各艇一口5,000円で見舞金を募る。集金方法は、銀行口座への振込みとハーバーでの受付とする。

クラブレターで、理事長名による呼びかけを行う。

議題2. 行事計画

ハーバー開き

・4月23日(土)前夜祭、各ヨットオーナーによる屋台(チャリティの位置づけ、20%のコミッション支払い、一杯目ワンコインの寄付など)

・4月24日(日)神事、参加費も1500円で実施(チャリティの位置づけ)。

その他の行事計画

6月4(土)、5日(日)合同クルージング、古和浦実施。地元との交流や小学生の体験クルージング実施を先般決めたが、状況が変化している可能性もあるので確認する。

議題3. VOC 新入会紹介(白井宏明氏)

満場一致で承認された。また、さらに新入会を促進していく必要がある旨の意見もあり、その説明のためのツール必要との声があった。

議題4. (株)志摩ヨットハーバー決算報告

2月次決算及び第14期営業報告書 H21.6～H22.5 についての説明がなされ、経営的に楽観視は出来ないが、やりくりしている旨が報告された。昨年度末の貸し倒れ損失180万円についての説明もなされた。また、鈴木監査役より年会費係留料徴収状況の説明があり、4月末には平成23年度の請求もなされる旨の伝達があった。

議題5. ハーバー設備改善の件

各地で津波の被害が大きく、今回は問題は無かったが、当地でも対策を考えておく必要があると、捨てアンカーを打つことやチェーンで繋ぐなどの方法を取ることを早急に研究していく必要がある点が共有された。

議題6. オリジナルウエア作成の件

夏へ向けてのVOCオリジナルウエア(ポロシャツ、パーカー)を作成することに関し方向承認された。詳細は今後実務担当者で話していくことになった。途中段階の意見交換もメールなどで行うことが決まった。

議題7. パールレースへのJSAFよりの支援依頼について

基本的にパールレースに関しては、クラブとして全面的に人的な支援をするということが確認された。正式に依頼してもらえればということになった。

議題8. その他

VOC及び係留会員への入会促進のためのA4サイズのチラシを早急に作成することが再度要求され、事務局で作成することになった。

以上

津波災害から身を守る心構え

3月11日に発生した東日本大震災の影響で、ハーバーのある五ヶ所湾も大きな被害を受けました。当初、津波注意報が出されましたが警報になり、気象庁の発表では午後4時 第一波の津波が到達予定でした。前回のチリ津波時もそうでしたが、第一波はそれほど大きくなくそれ以降の津波の方が大きな潮位の変化が見られました。

今回は前回と違い干潮時間と重なったためプロムナードデッキまで水位が上がることはありませんでしたが、4m近く潮が引き海面が見えるほどでした。艇および桟橋に大きな被害はなかったものの、桟橋の破損が一部みられました。津波の恐ろしさを改めて実感することとなりました。

実際、銚子マリーナではかなりの被害があり、桟橋や艇が陸に上がったりとマリーナの機能を全くといっていいほど失ってしまいました。日頃の心構えで、その後の人生が大きく変化します。

十分すぎるほどの備えをして、津波の被害を少しでも小さくすることが重要です。



【写真左・中：津波到達時のハーバー 右：1日後大島灯台付近】

津波災害を防ぐために

大きな地震を感じたらすぐに海岸を離れ高台へ

海岸から「より遠く」ではなく「より高いところ」へ避難することが大切です。でも、どうしても避難できない時は、市役所やエコセンターなどの頑丈で高い建物に避難することも重要です。

津波は何回も襲ってきます

第1波は小さかったからといって安心してはいけません。津波は繰り返し襲ってきます。津波警報等が解除されるまで、海岸に近づかないようにしましょう。(ハーバーでは津波警報発令中は、クラブハウスより下は立入禁止です。桟橋や艇に様子を見に行くことは出来ませんのでご了承下さい。)

揺れが小さくても油断はしない

体を感じる揺れ方(震度)と地震の規模(マグニチュード)は別です。たとえ小さな揺れでも、大津波を引き起こす可能性があります。揺れが長時間続く場合は、油断しないで安全な場所へ避難しましょう。

津波のスピードは速い

津波は海岸近くでは、秒速10メートル程度の速さになりますので、津波が見えてからではとても逃げ切れません。また、潮を引かずに津波が襲ってくる場合があります。(ハーバーのある五ヶ所湾は入り組んだ地形になっていますので、津波がどんな大きさになるのか、予想とは違う動きを見せる場合があります。決して油断せず避難して下さい。)

正しい情報で冷静な行動が必要です

地震があったり、津波注意報や警報が発令されたら、テレビ、ラジオ等で正しい情報を入手し、冷静な行動をして下さい。また、携帯の災害情報メールに登録したり、災害用アプリを活用するのも有効です。

チャリティーサンサタナイト in SYH

毎月第3土曜日は、クラブハウスで生演奏を楽しみませんか？
 スタンダードナンバーを主に、時にはプロミュージシャンをお招きしセッション
 プレイやヴォーカルも楽しむことができます。もちろん聴くだけでもOKですよ。
 皆様の多数のご参加お待ちしております。
 ミニマムワンドリンクオーダー制(500円)になります。
 楽器はピアノ、ギター、ベース、ドラム、ビブラフォンなどが準備されています。演奏者も大募集中です。
 その他の楽器の持ち込みもOKですので、お気軽にご参加下さい。

次回は
5月14日(土曜日)
 開催です！！

(新入会のお知らせ)

新しくメンバーになられた方をお名前のみですが掲載いたします。今後ともよろしく願います。

春日井 晴雄 様 (艇名:ルシェール5) 白井 宏明 様 (艇名:CALA) (順不同)

予 約 状 況 (4月2日現在)



×:満室 :若干の空室あり :空室あり -:定休日

4月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

5月

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

6月

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

編)集)後)記)

日に日に暖かくなり、桜の開花ももうすぐかと思えます。ハーバーで毎日過ごし、特に平日にクラブハウスのテラスからヨットや景色を眺めていると本当にゆっくりとした時間が流れ、のどかで平和なことに感謝しています。風の強い日は、マストが揺れてカランカランと音が聞こえます。暖かな日には、鶯や鳥の鳴き声、夕方になるとカラスが鳴きトンビが優雅に大空を舞い始めます。夜は星が瞬き、暗闇の中にマストがぼんやりと見え、満月の夜には夜空と海面に2つの月が浮かびます。敷地内の桜が咲くのを楽しみに待ったり、プールではしゃぐ子供たち、柿の実がなっているのを見てうれしくなったり、雪が降って一面真っ白になったハーバーの写真を撮ったり・・・何気なく過ごしている四季の景色ひとつひとつが、かけがえのない時間に思えます。

東日本大震災で大切な人や、思い出の詰まった家や場所を失ってしまった方々を見ていると本当に辛く悲しく感じます。また、そんな厳しい環境の中でも人は助け合って笑顔を取り戻していけるのです。今回改めて感じる人のぬくもり、ふるさとのぬくもりは何物にも代えがたい宝物です。復興を願うたくさんの暖かい心や、やさしさが光となり、これからの希望になっていけばと思います。被災された多くの方々が一日でも早く、希望の光をもてるようになることを心より願っています。 (山本 智香)

発 行: ヴィーヴルオーシャンクラブ
 発行責任者: 事務局長 清水 次人
 編 集 人: 清水次人・山本 智香

VOC志摩ヨットハーバー
 三重県度会郡南伊勢町船越 3113
 Tel 0599-66-0933 Fax 0599-66-0341
 URL <http://www.vocshima.jp>
 Email aag82500@pop02.odn.ne.jp